

JIS A 5536

F★★★★★

JAIA 4VOC基準適合

木質系直張り遮音床材用接着剤 フローウッドMS

フローウッドMSは、木質系直張り遮音床材の施工に適した変成シリコーン樹脂系接着剤です。専用コテを用いることで安定した接着性を発揮し、接着剤の塗布量を抑制することができます。また、硬化物が柔らかいため、床材表面に付着した場合でも容易に除去できます。



変成シリコーン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性液体類

容量	包装形態	梱包単位
5kg	アルミパック	4 (コテ付)

用 途

適用箇所	屋内の床面
適用下地	コンクリート、モルタル、合板、SL材、 床暖房パネル (アルミニウム板、亜鉛メッキ鋼板など)
適用材料	単層又は複合フローリング (緩衝材裏打ちのあるもの)

選択上の注意事項

- ・フローウッドMSは指定用途の組み合わせ以外には使用しないで下さい。
- ・接着施工する前に床材の柄違いを確認し、欠損や反りのある物は使用しないで下さい。

標準使用量 (モルタル下地・合板下地の場合)

300~350g/㎡	14~16㎡/5kg
------------	------------

性 質

外 観	灰白色 粘稠液
主 成 分	変成シリコーン樹脂
張付け可能時間 (23℃)	夏用 (S) : 60分以内
	冬用 (W) : 45分以内

使用方法

【下地の確認】

- モルタル、SL材下地の場合
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板を使用し、目違いや目地隙のない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

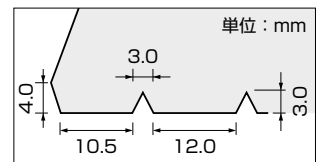
- 1.モルタル、SL材下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材(リフローF)で平滑にします。
- 2.モルタル、SL材下地の毛い部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材(リフローF)で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び床材のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

【床材の確認】

接着施工する前に床材の柄違いを確認し、欠損や反りのある物は取り除きます。

【接着剤の塗布】

規定のクシ目ゴテ(右図)を使用して、塗り溜りができないように接着剤を均一に塗布します。



チェック：一回の塗布面積は、張付け可能時間内に張り終える面積として下さい。

【床材の張り付け】

- 1.接着剤塗布後すぐに張り始め、張付け可能時間以内に張り終えます。「サネ」部の納まりは、ゴムハンマーなどを用いて注意しながら施工します。
- 2.目地部から接着剤がはみ出した場合は、そのまま放置せず、すぐに拭き取ります。
- 3.張付け可能時間を超過した部分は接着剤を削り取り、新たに接着剤を塗布しなおします。

チェック：・張付け可能時間は環境により異なります。
・一度容器より取り出した接着剤は、容器に戻さないで下さい。
・SL材下地及び接着剤の吸い込みが大きい緩衝材が裏打ちされたフローリング材では、接着剤の塗布量が不足し張付け可能時間が短くなる場合があります。
・床材の張り込みに関しては、床材メーカーの「施工要領書」「注意事項」に留意し施工して下さい。

【圧 着】

床材の張り付け後、十分に圧着し、30~60分後に再度圧着します。

チェック：床材に浮きが認められる時は、接着剤が硬化するまで砂袋などを置いて養生します。

【養 生】

接着剤が硬化するまで重量物の運搬や歩行をしないように養生します。

フロアーウッドMS

施工上の注意事項

- 製品が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
- 指定用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は、換気を行って下さい。又、施工後も製品が硬化するまで通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行って下さい。
- 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所では、火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 製品は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害（特にカブレ）などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。（アレルギー体質の人は特に注意して下さい）
- 一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。（数日で硬化します）

取り扱い上の注意事項

フロアーウッドMSを使用する前に、下記の項目を守って下さい。

- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 食品用器具、容器等には使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- フロアーウッドMSをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

警告及び注意



- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされませうお薦めします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-89-8111

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イイスカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

2201103